

国別情報（バングラデシュ）

2026年1月

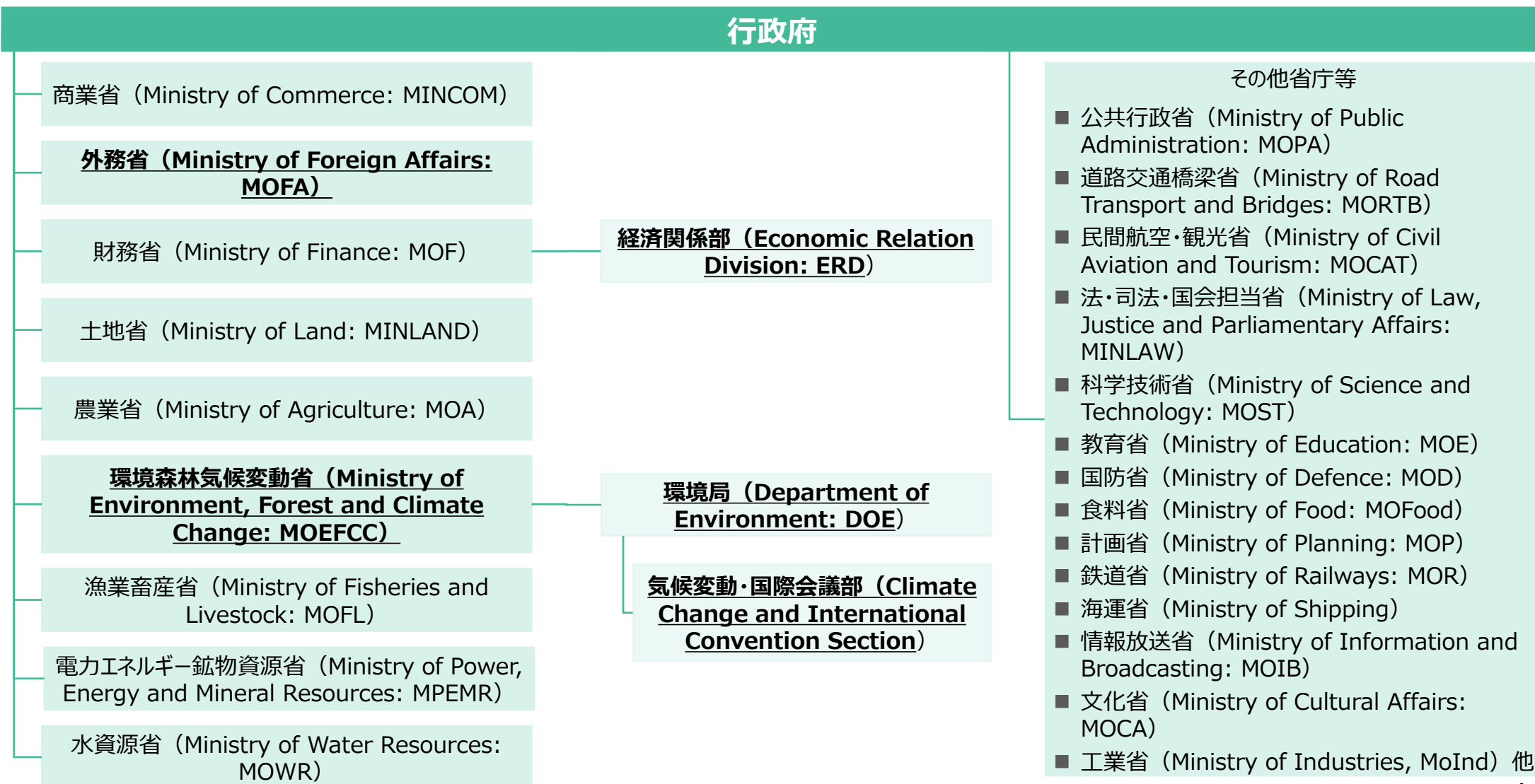
三菱UFJリサーチ & コンサルティング
海外環境協力センター（OECC）

バングラデシュ

1. 一般情報

省庁体制

※太字・下線はJCMの合同委員会メンバー



バングラデシュ

1. 一般情報

経済情勢

- 主要産業 :
 - ・ 衣料品・縫製品産業、農業
- 実質GDP : 3,055億米ドル（2022年：世界銀行）
- 1人当たりGDP : 2,688米ドル（2022年：世界銀行）
- 経済成長率 : 7.10%（2022年度（バングラデシュ会計年度））
- 消費者物価指数上昇率 : 9.42%（2023年12月時点、バングラデシュ中央銀行）

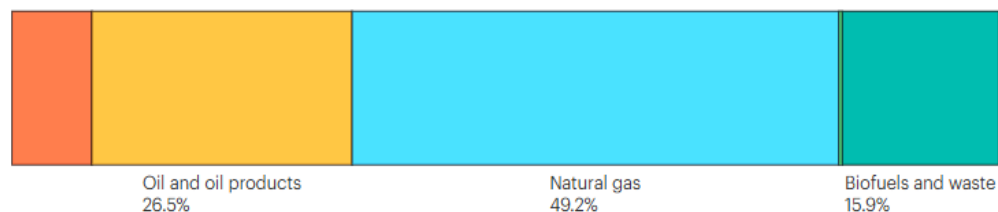
（出所）外務省「バングラデシュ人民共和国 基礎データ」（2025年8月7日）
 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/bangladesh/data.html>, 2025年9月16日アクセス)

バングラデシュ

1. 一般情報

エネルギー供給構成（2023年）

Total energy supply, Bangladesh, 2023



Coal and coal products
Oil and oil products
Natural gas
Hydropower
Solar, wind and other renewables
Biofuels and waste

電源構成（2023年）

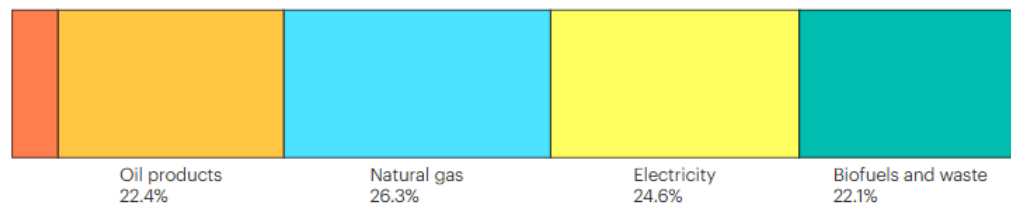
Electricity generation, Bangladesh, 2023



Coal
Oil
Natural gas
Hydropower
Wind
Solar PV

エネルギー源別最終エネルギー消費（2023年）

Total final consumption, Bangladesh, 2023



Coal and coal products
Oil products
Natural gas
Electricity
Biofuels and waste

部門別最終エネルギー消費（2023年）

Total final energy consumption, Bangladesh, 2023

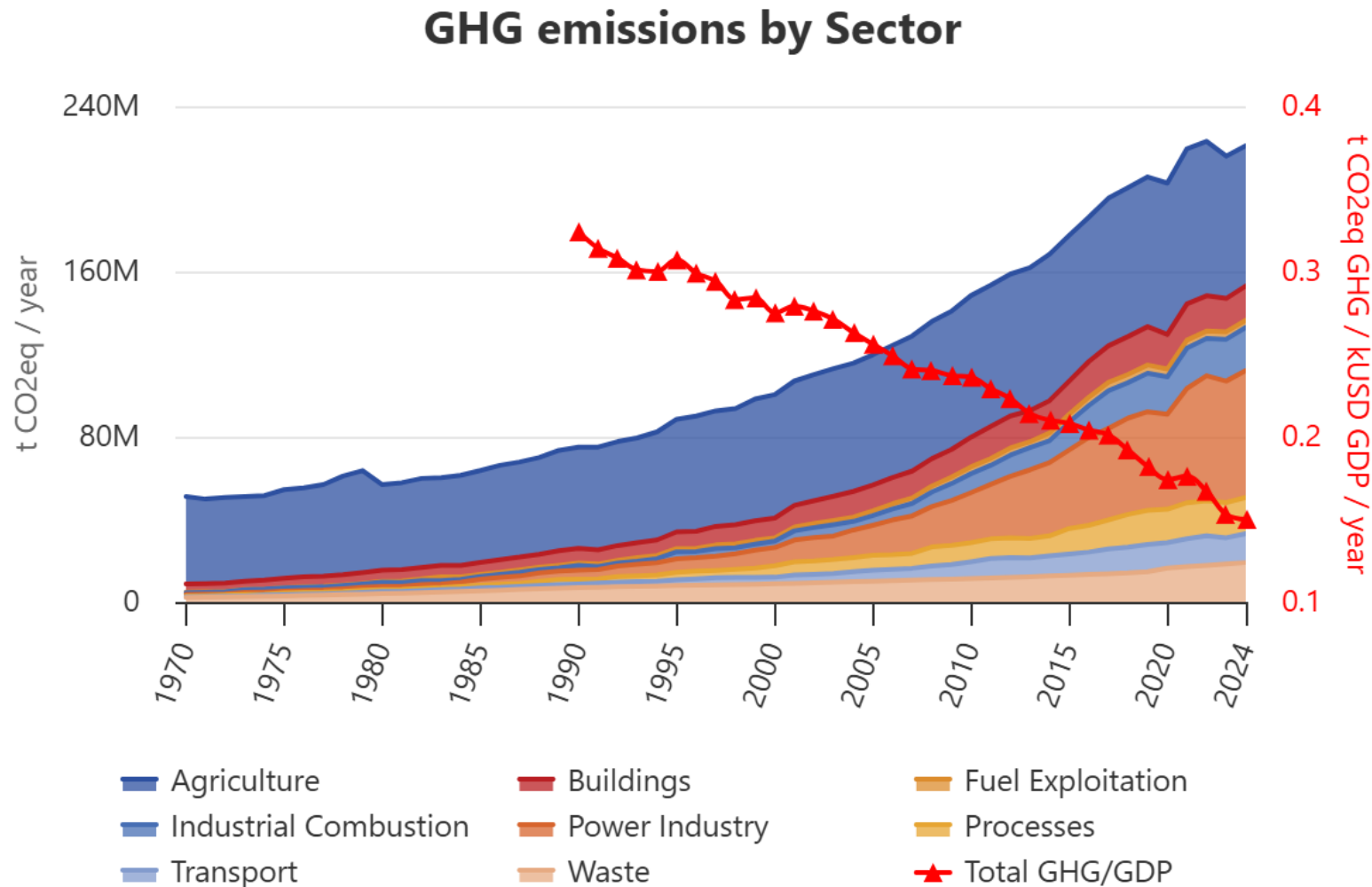


Industry
Transport
Residential
Commercial and Public Services
Agriculture and forestry
Other non-specified
Non-energy use

● バングラデシュ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（1970年～2024年、LULUCF含まず）

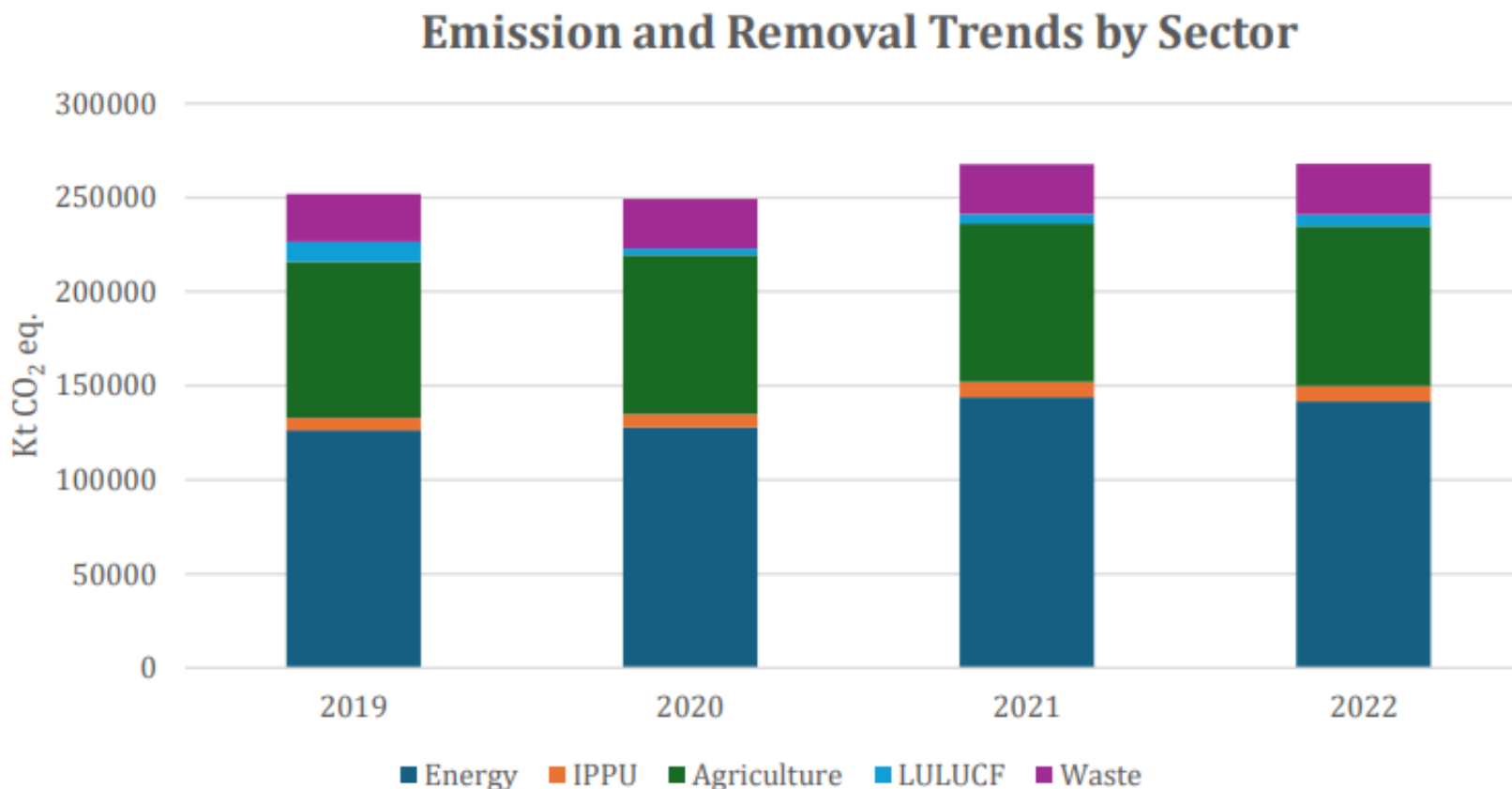


(出所) European Commission, Joint Research Centre, Crippa, M., Guizzardi, D., Pagani, F., Banja, M., Muntean, M. et al., GHG emissions of all world countries - 2025 Report, Publications Office of the European Union, Luxembourg, 2025, [doi:10.2760/9816914](https://doi.org/10.2760/9816914), JRC143227. (https://edgar.jrc.ec.europa.eu/country_profile/BGD, 2026年1月6日アクセス)

バングラデシュ

1. 一般情報

温室効果ガス排出量の推移（2019年～2022年）



（出所）“First Biennial Transparency Report (BTR1) of Bangladesh to the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) (Interim)” (Department of Environment, Ministry of Environment, Forest, and Climate Change, Bangladesh, 2025)

#

バングラデシュ

1. 一般情報

各種政策・戦略

各種政策・戦略	概要
国家太陽エネルギーロードマップ2021 - 2041 (National Solar Energy Roadmap, 2021-2041)	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の長期的なビジョンを策定し、太陽エネルギーの取組に対する容量目標を設定するために作成された。 ● 目標を達成するために必要な広範な戦略を概説している。
2030年までのエネルギー効率と省エネのマスタープラン (Energy Efficiency and Conservation Master Plan up to 2030)	<ul style="list-style-type: none"> ● バングラデシュのエネルギー効率と省エネに関する取組の最上位計画である。 ● 本計画の下、政府は2030年までにエネルギー集約度（GDP単位あたりの一次エネルギー消費）を2013年比で20%削減することを目指す。
バングラデシュ国家REDD+戦略 (Bangladesh National REDD+ Strategy)	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林減少と森林劣化を抑制し、森林の炭素貯蔵量を増加させるための多部門アプローチに基づき策定された。 ● 本戦略の下、既存の森林126万9,070haを保護・保全し、63万7,259haに再植林し、17万3,498haの劣化した森林を再生・強化することを目指す。

（出所）各戦略・計画に基づき作成

バングラデシュ

2. 国内制度

- FIT制度

- ・ 確認されていない。

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

承認 (Authorization)

承認体制

- 環境森林気候変動省がパリ協定6条の指定国家機関を設立しており、6条DNAの理事会が承認を実施している。

登録簿

- NDC（2025年提出）では、ITMOsの発行・追跡のための国家登録簿を設置し、2026年までに運用を開始している。

初期報告・BTR・インベントリ等の提出状況

初期報告

- 未提出

隔年透明性報告書 (BTR)

- 2025年12月31日提出

インベントリ等

- 2018年12月22日にNC3を提出
- 2023年11月25日にBUR1を提出

6条4項ホスト締約国参加要件様式

- 提出

6条承認レター

- 未提出

(出所) UNFCCCウェブサイト“CARP” (<https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/cooperative-implementation/carp>, 2025年1月6日アクセス)、UNFCCCウェブサイト“Reports” (<https://unfccc.int/reports>, 2025年1月6日アクセス)、UNFCCCウェブサイト“Designated National Authorities (DNAs)” (<https://unfccc.int/process-and-meetings/the-paris-agreement/article-64-mechanism/national-authorities>, 2025年1月6日アクセス)

バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条4項メカニズムの対象となるプロジェクトタイプ^o

	プロジェクトタイプ ^o
緩和活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、バイオマス） 2. 太陽光発電灌漑ポンプ 3. 住宅及び商業施設における先進的なレンガ技術及び非焼成レンガの利用 4. 間断灌漑（AWD） 5. 窒素肥料からのN₂O排出削減 6. 農地管理 7. 肥料管理の改善 8. 消化管内発酵によるメタン排出 9. 生産性の低い家畜から生産性の高い家畜への転換 10. 家畜用の飼料改良 11. 糞尿からのメタン、N₂O排出管理 12. 小規模バイオガスプラントの促進による糞尿管理改善 13. 共同森林管理、社会林業等を通じた森林と樹木の被覆の維持 14. 森林に依存するコミュニティの代替収入源を確保することによる森林の保全 15. 保護地域の共同管理 16. 沿岸での追加の植林 17. 劣化した森林や森林減少地域の回復の維持 18. 沿道、堤防、私有地での植林 19. クリーンクッキング

（出所） UNFCCCウェブページ “HOST PARTY PARTICIPATION REQUIREMENTS FOR ARTICLE 6.4 MECHANISM (Bangladesh)”
https://unfccc.int/sites/default/files/resource/A6.4_Form_AC_001_Bangladesh_Host-Party_fullfilment_form.pdf, 2025年9月16日アクセス）



バングラデシュ

3. パリ協定6条に基づく手続きや体制の整備

パリ協定6条4項メカニズムの対象となるプロジェクトタイプ

	プロジェクトタイプ
除去活動	<ol style="list-style-type: none"> 新規植林、再植林 マングローブ再植林 海洋・沿岸生態系におけるブルーカーボン バイオ炭技術による炭素除去 炭素回収貯留
技術移転活動	<ol style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの貯蔵 グリーン水素 燃料電池のような新たなモビリティソリューション エネルギー効率に関する先進技術 持続可能な航空燃料 排出削減が困難な部門における利用可能な最善の技術 潮力、海洋熱、海洋濃度差、波力、海流エネルギー グリーンアンモニア

(出所) UNFCCCウェブサイト “HOST PARTY PARTICIPATION REQUIREMENTS FOR ARTICLE 6.4 MECHANISM (Bangladesh)”
(https://unfccc.int/sites/default/files/resource/A6.4_Form_AC_001_Bangladesh_Host-Party_fullfilment_form.pdf, 2025年9月16日アクセス)

バングラデシュ

4. JCM概要（2025年12月時点）

二国間文書の署名：2013年3月19日

- 2013年3月19日の初回の署名後、2018年6月4日に更新し、有効期間を2030年12月31日まで延長。

ルール・ガイドラインの整備状況

区分	整備事項	状況
共通事項	基本的な一連のルール・ガイドライン類	済
	プロジェクトアイデアノート（PIN）に関する手続きの導入 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き）	済
	パリ協定第6条への対応 （実施規則、プロジェクトサイクル手続き、提案方法論開発ガイドライン、プロジェクト設計書・モニタリング報告書 開発ガイドライン）	済
	ISO 14064-2:2019、ISO 14064-3:2019、ISO 14065:2020への対応 （第三者機関指定ガイドライン、妥当性確認・検証ガイドライン）	済
	持続可能な開発関連のガイドラインの採択	済
分野別事項	なし	－

バングラデシュ

4. JCM概要（2025年12月時点）

承認方法論：4件

Methodology No.	Title	Latest version	Status	Date of approval
BD_AM001	Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller	Ver2.0	Valid	15 Mar 18
BD_AM002	Installation of Solar PV System	Ver1.0	Valid	16 Oct 17
BD_AM003	Energy efficiency improvement through the introduction of energy efficient air jet looms in textile industry	Ver1.0	Valid	16 Oct 17
BD_AM004	Installation of energy-saving conductors for transmission lines in the Bangladesh grid	Ver1.0	Valid	04 Jan 23

登録済みプロジェクト：3件

Reference number	Project title	Status	Registration date	Emission Reductions (Average)
BD002	Installation of High Efficiency Centrifugal Chiller for Air Conditioning System in Clothing Tag Factory in Bangladesh	Project registered	10 Jan 18	485
BD003	Installation of High Efficiency Loom at Weaving Factory	Project registered	04 Apr 19	382
BD004	Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant	Project registered	04 Apr 19	203

（出所）JCMウェブサイトより作成（<https://www.jcm.go.jp/>, 2026年1月6日アクセス）

バングラデシュ

4. JCM概要（2025年7月時点）

発行済みクレジット：499 tCO₂（両国合計）

Reference number	Project title	Monitoring period	Country	Date of issuance	Amounts of credits issued
BD002	Introduction of Solar PV Systems on Rooftops of Factory and Office Building	01 Mar 17 - 31 Jul 19	Bangladesh	11 Oct 24	57
			Japan	31 Mar 22	87
BD004	Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant	01 Jun 16 - 31 Jul 19	Bangladesh	11 Oct 24	177
			Japan	31 Mar 22	178

第三者機関：8機関

バングラデシュ

4. JCM概要（2025年12月時点）

環境省 設備補助案件：4件

事業名	採択年度
ファスナー製造工場への太陽光・ディーゼルハイブリッド発電システムの導入	平成27年
衣料品タグ工場における省エネ型ターボ冷凍機を利用した空調の効率化	平成27年
織布工場における高効率織機導入による省エネルギー	平成27年
省エネ型ターボ冷凍機を利用した工場設備冷却（ダッカ市郊外）	平成26年

環境省 ADB JFJCM案件：1件

事業名	採択年度
バングラデシュ南西部（バリサル – ゴパールガンジ間）の高効率送電導入プロジェクト	平成30年

（出所）地球環境センター(GEC) 二国間クレジット制度(JCM) ウェブページ”事例紹介”より作成（<https://gec.jp/jcm/jp/projects/>, 2026年1月6日アクセス）

バングラデシュ

4. JCM概要（2025年6月時点）

経済産業省 MRV適用調査事業案件：3件

事業名	採択年度
高効率火力発電（平成25年度から）	平成27年
高効率火力発電（平成25年度から）	平成26年
高効率火力発電（平成25年度から）	平成25年

JCM実現可能性調査・JCMインフラ整備調査事業等採択案件：2件

事業名	採択年度
バングラディッシュにおける高効率火力発電の普及に向けた事業スキームの構築及び二国間オフセット・クレジット制度のインフラ・プラットフォームの構築に関わる提言	平成24年
バングラデシュ国における新設CCGT発電プロジェクトの案件組成調査	平成23年

（出所）炭素市場エクスプレス ウェブページ“支援事業・調査採択案件”より作成（<http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/about/support/adoption.html>, 2025年6月20日アクセス）

バングラデシュ

5. 日本（JCM）以外のパリ協定6条に基づくアプローチ

● 6条に関する方針

- NDC（2025年提出）では、国際炭素市場をNDCの達成と整合させ、追加的なカーボンファイナンスを引き出すために必要な基盤となる政策・戦略を策定中であるとしている。また、自国を高い十全性と高い品質を有する炭素クレジットの販売国として位置付けるとしている
- NDC（2025年提出）では、条件付きNDCの活動はパリ協定6条を通じた炭素クレジットプロジェクトの開発のために考慮されるとしている。
- 隔年透明性報告書（2025年提出）では、環境十全性、透明性、国家優先事項との整合性を確保するため、国家炭素市場枠組みの最終化を進めているとしている。この枠組みは、パリ協定6条に基づく緩和活動のための戦略的ビジョン、指針、ガバナンス体制を提供し、活動の承認、ITMOsの発行、相当調整の適用等、6条の運用に必要なプロセスと手続きを確立することが目的であるとしている。また、炭素市場枠組みが最終化され次第、バングラデシュはITMOsの承認、発行、相当調整の適用を進めるとしている。

● 日本以外との国とのパリ協定6条に基づくアプローチ

- 韓国：
二国間の協力的アプローチに署名している。
- NDC（2025年提出）では、その他先進国とも協力的アプローチに署名することを模索していると記載されている。

（出所）“Nationally Determined Contributions (NDCs) 2021”（2021年8月26日提出）、“First Biennial Transparency Report (BTR1) of Bangladesh to the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC) (Interim)”（Department of Environment, Ministry of Environment, Forest, and Climate Change, Bangladesh, 2025）”

バングラデシュ

6. 固有の制度・工夫

● 分野ごとの取組

【農業】

- 家畜由来のメタン削減。家畜の飼料に特定の添加物を加えることで、消化過程で発生するメタンガスを削減するプロジェクトが進められている。
- 高効率調理器具（クリーン・クッキング・ストーブ）の普及。農村部では、薪や家畜の糞を燃料とする非効率な調理器具が広く使われており、これが大気汚染と温室効果ガス排出の大きな原因となっている。バングラデシュ政府や国際機関は、この伝統的な調理器具を、燃料効率が高く、煙の少ないクリーン・クッキング・ストーブに置き換えるプロジェクトを推進している。人々の健康改善と環境保護を同時に達成する。

（出所）バングラデシュNDC、[FAO取組記事（2025年8月29日アクセス）](#)、Understanding Market-based solutions and access to finance options for clean-cooking technologies in Bangladesh, The World Bank 2021 などから作成

バングラデシュ

7. コミュニケーション履歴

↓ 会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

Subject	Date	Agenda
1st Joint Committee in Dhaka	29-Jul-13	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
2nd Joint Committee in Tokyo	14-Jan-14	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
3rd Joint Committee in Dhaka	09-Mar-16	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	16-Oct-17	Approval of proposed methodologies with revisions: BD_AM002 "Installation of Solar PV System" BD_AM003 "Energy efficiency improvement through the introduction of energy efficient air jet looms in textile industry"
4th Joint Committee in Tokyo	10-Jan-18	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	15-Mar-18	Approval of a proposed revised methodology: BD_AM001 (ver02.0) "Energy Saving by Introduction of High Efficiency Centrifugal Chiller"
Decision by the JC	04-Jun-18	Adopted documents: Rules of Implementation for the Joint Crediting Mechanism (JCM) (version 03.0) Rules of Procedures for the Joint Committee (version 03.0)
Electronic Decision by the JC	04-Apr-19	Registration of proposed JCM projects - BD003 "Installation of High Efficiency Loom at Weaving Factory" - BD004 "Introduction of PV-diesel Hybrid System at Fastening Manufacturing Plant" Designation of a TPE for an additional sectoral scopes of 12 for validation and verification - EPIC Sustainability Services Private Limited (EPIC)
5th Joint Committee	28-Mar-22	詳細は会議資料リンク（会議名をクリック）参照
Electronic Decision by the JC	04-Jan-23	Approval of a proposed methodology BD_AM004 "Installation of energy-saving conductors for transmission lines in the Bangladesh grid"
Electronic Decision by the JC	03-May-23	Designation of a third-party entity - LGAI Technological Center S.A. (Applus+ Certification)

（出所）JCMウェブサイトより作成（<https://www.jcm.go.jp/>, 2026年1月15日アクセス）

バングラデシュ

7. コミュニケーション履歴

↓ 会議名をクリックすると会議資料のページにリンクします。

Subject	Date	Agenda
Electronic Decision by the JC	20-May-24	Designation of third-party entities - Enviance Services Private Limited - Ampere For Renewable Energy
Electronic Decision by the JC	14 Sep 25	Decision on documents - Rules and Guidelines (New version to be uploaded) Decision on no objection to the planned project - BD_PIN001 "Sustainable Rice Cultivation Project through Efficient Water Management"

(出所) JCMウェブサイトより作成 (<https://www.jcm.go.jp/>, 2026年1月15日アクセス)